

◇ 眞宗學會

一月十六日 午後三時 例會

金剛心に就て

名畑教授

一月廿三日 午後三時 例會

稱名報恩に就て

藤原教授

世親の淨土觀

幡谷副手

二月十二日 午後三時 卒業論文發表會

歎異鈔における善惡の問題

石澤君

菩提心の展開

北原君

法然より親鸞への本願論

寺西君

莊嚴について

菅生君

◇ 佛教學會

二月一日 午後三時 於第一教室

舟橋教授歸朝歡迎會

櫻部講師渡印壯行會

卒業生送別會

さきに、佛滅二千五百年記念式典に列席して、インドより歸國せる舟橋教授、ナールンダ佛教學院に佛教學講座

擔當のため渡印豫定の櫻部講師、並び

に卒業生(學部十四名、大學院一名)をお招きして、夫々の話題に賑わつた。出席者 舟橋、横超、山田、稻葉、雲井教授、學生計三十五名。

四月二日

インド・ナグプール大學、ドイツ・ハンプルグ大學等に前後三ヶ年、客員教授をつとめられた佐々木現順助教歸國。

四月二十五日

新入會生歡迎會 午後三時 於洛東法然院出席者 山口學長、舟橋、横超、山田、富貴原、稻葉、雲井各教授以下學生四十五名。學生の爲の佛教學々習についての談話裡に盛會。

◇ 大谷哲學會

哲學論集 第三號 目次

一 觀念論と實在論との彼岸

河瀬憲次

一 善惡淨穢―特にイスラエル

福原一來

一 習慣論

岩見至

一 プラグマティズムの道徳教育―その基礎的原理について―

藤武

◇ 哲學倫理學會

二月十九日 (例會及送別會)

「ベルゲン哲學に於ける時間」

塚本正孝

五月十一日 (例會及歡迎會)

「現代に於ける孝の問題」 阿部助教

◇ 宗教學會

新入生歡迎會

一、場所 會議室

一、日時 四月二十五日

今年は六人の新入生を迎え和氣霽々裡に散會した。

出席者 坂本教授外五名。

◇ 教育學會

一月二十六日 (例會)

卒業論文發表

「家庭における兒童の教育」 長弘文夫

「少年非行とその環境」 善澤義成

出席者 前田講師、柴田助教、學生十名。

一月三十一日

卒業生送別會 於越後家亭

今年は四名の卒業生を送る。

出席者 前田講師、柴田助教、學生九名。

議題 東山方面史蹟踏査の件、

卒業生送別會の件、

一月二十日 東山方面史蹟踏査

午前九時銀閣寺電停前集合、法然院・

永觀堂・靈鑑寺・金地院・南禪寺・青

蓮院・知恩院を拜觀、午後三時半解散

指導 藤島教授、參加學生二十二名。

二月二日 卒業論文發表會 於會議室

午後一時より藤島教授の開會の辭に始

まり、卒業生十六名(缺席三名)の卒

論發表あり、途中記念撮影を行ない、

午後四時野上教授の閉會の辭を以て終

る。

引き續き會場を「臺灣」に移し、卒業

生豫餞會を行なう。盛會の裡に午後七

時散會す。出席者藤島・野上兩教授、

北西講師以下學生三十三名。

三月十五日 桂・修學院兩離宮見學

第一班 指導 藤島教授、學生九名。

第二班 指導 北西講師、學生八名。

四月十八日 (總會) 於第十三教室

新專攻者日本佛教史十六名、中國佛教

史二名、計十八名を迎え、今後のあり

方に就いて諸注意を興える。

四月二十一日 新入生歡迎會並に史蹟踏

査、岩倉方面、心光院・實相院・大雲

寺を見學、大雲寺にて歡迎會を行なう

出席者藤島・野上兩教授、北西講師、

學生三十四名。

## ◇國文學會

卒業生送別會 二月十六日 於スター食堂

多屋頼俊教授をはじめ同窓生、在學生

多數出席、和氣露々裡に卒業生八名を

送る。

新入生歡迎會 四月二十二日 於會議室

新入生の自己紹介の後、互に將來の希

望などを語りあつた。

史蹟見學會 四月二十八日 宇治方面

黄檗山萬福寺、三室戸寺に詣で、橋寺

で中食、平等院を見學して午後四時解

散。

座談會 四月三十日 於會議室

土岐善麿博士を圍んで座談會をひら

く。

輪讀會 毎週月曜日 於第四十二教室

雜誌「國語と國文學」の論文を読む。

## ◇社會學會

新入生歡迎會

五月六日 於リプトン

## ◇國史學會

一月十三日 史蹟踏査 奈良西京、法隆

寺方面、秋篠寺から西大寺、喜光寺を

經て、法隆寺を見學。後、有志は同夜

いとなまれた法隆寺修正會作法に參籠

した。

一月三十一日 三十一年度卒業論文發表

會並びに送別會。卒論發表の後、スタ

ー食堂において先輩の參加もえて送別

會を催す。

## ◇佛教史學會

一月十六日 (總會) 於第十三教室

◇ 東洋史學會  
支那學會

昭和三十一年度卒業生豫餞會

二月九日 午後六時 於スター食堂

出席者 野上・中田・水谷・宮崎・外山・藤原・間野各先生並びに研究室員、學生三十餘名。

野上・中田兩主任教授及び宮崎講師の餞けの言葉があり、盛會裡に終了。

◇ 獨文學會

二月二十七日

昭和三十一年度卒業生送別會

於鳥初(三條)

出席者 外村教授、岸助教授、藤尾囁

託、卒業生和田裕宗、川井義男。

四月二十日

新入生歡迎會

出席者 外村教授、岸助教授、學生四名。

◇ 眞宗史學會

○二月二十一日 午後二時 於會議室

發表 「歴史家の見たる悪人正機説」

三品彰英氏

出席者 藤島・五來・柏原・上場・北西・細川・堅田・高橋・瀧・名畑(峯)の各氏。  
○六月三日 午後三時 於應接室  
發表 「河内光徳寺の法寶物について」

上場謙澄氏

出席者 藤島・三品・柏原・北西・細川・堅田・瀧の各氏。尙、從來の眞宗史研究會の名稱を眞宗史學會と改稱することにした。

(九十二頁より)

チャールズ・モーリス 「東西兩文化に於ける諸生活理想の強弱の比較」

フィルマー・S・C・ノースロップ

「諸倫理學説の諸タイプ説と變容」

コニリアズ・クルーゼ

「西洋の諸價值學説」

チャールズ・A・ムーア 「東西兩洋に於ける形而上學と倫理學」

IV 結論と將來の見通し

○「ゼミナレポルト」

執筆者紹介

索引

(三一年九月・理想社刊・A5版・四〇

六頁・七五〇圓)

(近藤)

大谷學報第三十七卷第一號

執筆者紹介

稻葉秀賢 大谷大學教授

(眞宗學)

岩見護 大谷大學短期大學部教授

(國文學)

中田勇次郎 大谷大學教授

(支那學)

阿部行人 大谷大學助教授

(倫理學)

堅田修 大谷大學助手

(國史學)

近藤徹稱 大谷大學囁託

(佛教學)